異物混入対策について

異物混入とは

異物とは・・・

食品中に存在する「本来その食品を構成している成分以外のもの」すべて

硬質異物は健康被害に直結！

硬質異物　（例）石、骨片、ガラス片、プラスチック片、金属片、針

軟質異物

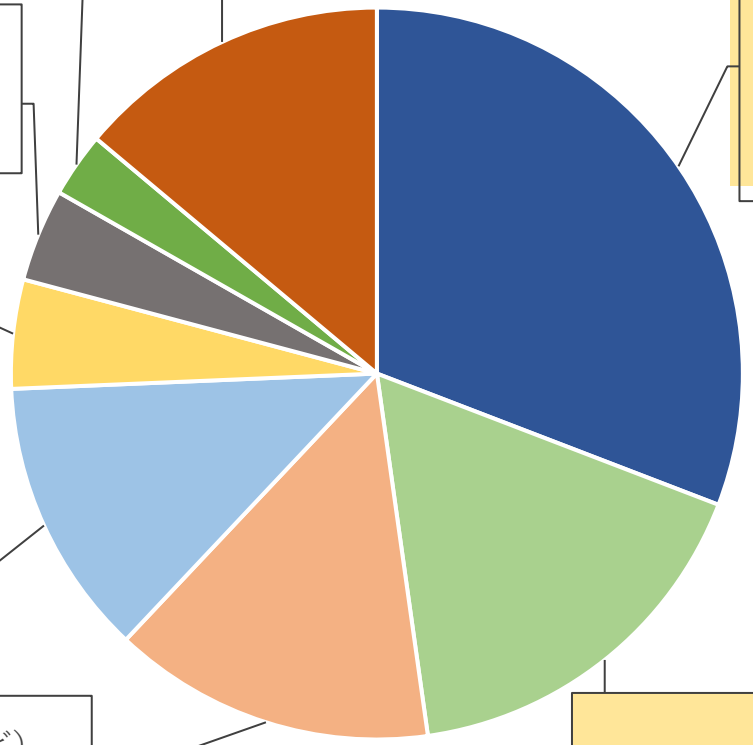
動物性異物　（例）昆虫（卵から成虫まで）、寄生虫、体毛

植物性異物　（例）原料でない種子、繊維片、木片

異物混入のタイミング

あらゆるルートから混入する可能性がある！

令和３年度　異物混入苦情発生件数（東京都）



寄生虫（アニサキスなど）
3%（16件）

その他、不明
14%（78件）

植物性異物（木片、種など）
4%（23件）

食品の一部
5%（27件）

鉱物性異物（ガラス、石、金属など）
12%（69件）

動物性異物（毛、歯など）
14%（80件）

虫（ゴキブリ、ハエなど）
31%（173件）

合成樹脂類
17%（95件）

- 苦情全体の約15%が異物混入による苦情
- 最も多い異物は**虫（31%）**

事例①

ラーメンに虫混入

テイクアウトしたラーメンを喫食していたところ、
スープにチャバネゴキブリが浮かんでいた

混入原因

- 定期的にそ族昆虫の駆除をしているが、厨房内でチャバネゴキブリを見かけることがあった
- 窓際に置いていたもやしのバケツにゴキブリが入り、そのまま他の野菜と一緒に炒めて提供してしまったと推測された

事例①

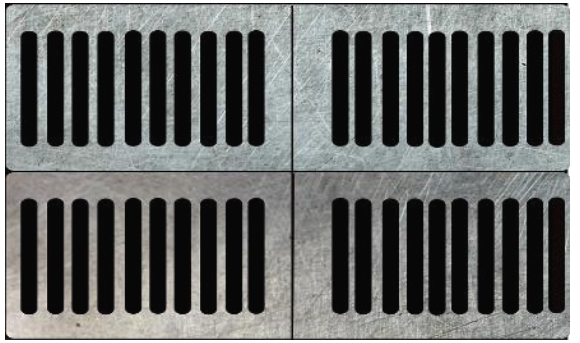
ゴキブリ対策

✓ **施設内への侵入経路を塞ぐ**

ゴキブリ➡汚染源になる

換気扇

壁のひび割れ



裏口

排水ホース

事例①

ゴキブリ対策

✓ **施設内で繁殖させない**

常に清潔に保つ

・食材や生ごみ、段ボール等を放置しない。
・床は水切り、シンクはなるべく乾燥させる。
・油汚れや排水溝等はこまめに掃除する。

施設のメンテナンス

・カウンターや壁面等のすき間はコーキングなどで埋める。
・残さが溜まりやすい床の割れや穴、すき間をなくす。

生息状況の確認と駆除

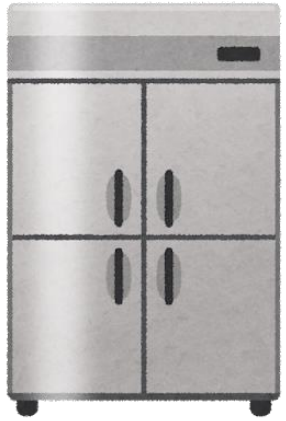
・捕獲用トラップの配置
（週1回以上は確認）
・ベイト剤（毒餌）による駆除
・害虫防除業者の活用

事例①

ゴキブリ対策

◎点検ポイント　エサがあり、温かく、湿度が高く、暗く、狭い場所

ごみ置き場



冷蔵庫のモーター

食器洗浄機の内部

食品倉庫・保管棚

フライヤー周辺

事例②

牛丼に合成樹脂等混入

トッピング用の食材を保管する缶に、
使用期限を記入していた紙片と
その紙片を止めておく輪ゴムが混入

混入原因

- 目立つ色の輪ゴムを使用していたが、盛り付け時の目視確認不足により、異物に気付かなかった

事例②

外部からの持込みの混入対策

調理場にある物は、異物混入の原因となる可能性がある

	持込可能物（例）	持込禁止物（例）
筆記用具	ノック式ボールペン	キャップ式ボールペン、鉛筆、シャープペンシル
文具	指定の文具	カッター、ホチキス、輪ゴム、クリップ

ルールは従業員全員に周知

事例③

カレーとナンに異物混入

テイクアウトしたカレーとナンから異物を発見
カレーにスチールたわしの一部、ナンに毛髪が混入

混入原因

- スチールたわしの経年劣化により、一部が破損
- 毛髪の混入経路は不明
- 目視確認の不足により、異物に気付かなかった

事例③

使用器具の混入対策

「まだ使える」は危険
劣化に注意！

切れやすくなった
金たわし

- ✓ 使用時の点検
- ✓ 早めの交換

毛羽立った
スポンジ

事例③

毛髪類の混入対策

✓帽子から毛髪がはみ出さないよう鏡で確認

✓粘着ローラーで毛髪を除去

✓毎日の頭髪の手入れ
（シャンプー、ブラッシング）を欠かさない

✓頭髪に手を触れない

異物混入対策

異物を・・・

持ち込まない

- ✓ 身だしなみ
- ✓ 調理場に持ち込むもののルール化

侵入させない

- ✓ ゴキブリ、ハエ、ネズミ等の侵入を防ぐ

作らない

- ✓ 定期的な点検
- ✓ 早期の交換、修理

取り除く

- ✓ 金属検出機の活用
- ✓ 目視確認

異物混入防止のための5S

整理	• 調理場に必要なものと不要なものを分ける • 不要なものは処分する又は調理場外に移動させる
整頓	• 保管の場所、方法、数を決める • 食品と薬剤は明確に区別して保管する
清掃	• ゴミや汚れたものを放置しない • 目の届かない場所も定期的に掃除する
修理	• 機械器具等の使用状況を点検し、定期的にメンテナンスする • 改善措置は記録に残す
習慣（しつけ）	• 衛生管理のルールを作り、見える化（マニュアル化）する • 全従業員で共有する